

設立 30 周年記念式典・集い

令和 8 年 6 月 15 日（月）

第 1 部 式次

- 1、会歌斉唱
- 2、山内会長挨拶

30 年という年月は決して短いものではなく、その間には食生活を取り巻く変化や健康課題の多様化など様々な社会の動きなどがありました。しかし、どのような状態であっても会員の皆さんは地域に寄り添い、笑顔で活動してこられました。その姿勢こそが協会の大きな力となり、節目に繋がったものと深く感じています。

- 3、城陽市 村田正明市長・京都府山城北保健所 重見博子所長 来賓祝辞
村田市長のお祝いの言葉から、会歌の歌詞の内容に触れ、
外食が多い生活環境に「私は歌っても良いのかな～」と。

重見保健所長からは、京都府における減塩生活の難しさと健康寿命の延伸について。
市長の食生活にも触れ、改善レシピを楽しみにしていると、
笑いで会場がなごみました。

＊洛タイ新報からの挨拶紹介



会歌（京都府食生活改善推進員の歌）

- 1、六つの栄養組み合わせ栄養バランス考えて作る心もうきうきと囲む家族の声なごむ
- 2、脂肪、糖分控え目に塩分押さえて薄味で運動休養忘れずに励むからだに力わく
- 3、海山幸に恵まれたふるさと郷土に愛をこめて健康の輪を広げゆくわれら京都府食改推進員

30 周年記念誌及び記念レシピ集



当初先輩方の手作り作品



参加された皆様の様子

記念講演 「食生活推進員協議会のあゆみと 食改活動の魅力」

京都府食生活改善推進員連絡協議会 会長 坂部智恵美様

講演の内容

- ・食生活推進員とは
- ・食生活改善推進協議会の発足と歴史
- ・食生活改善推進協議会の組織と行政機関との連携
- ・食改員の活動のポイントと楽しむポイント
- ・ボランティアとしての原則と大切さ
- ・ソーシャルキャピタル（社会関係資本）と食生活改善推進員の役割
- ・これからの健康づくり みんなと共に、市町村の事業に参加して知識や技術の提供、自助、共助、相互、公助で取り組む、生活の満足度に、健康は重要な条件の 1 つ

これらの内容をパワーポイントを用いての講演で学びました。

「健康が人生のすべてではないが、健康をなくすと人生もなくなる」と、健康でいることまさに“自分の健康は自分で守る”と感じました。



第 2 部 集い アトラクション



演奏曲

- ・少年時代
- ・人生一路
- ・今日の日はさようなら
- ・故郷

♪大正琴 琴伝流大正琴正会の演奏♪



ダンスミュージック

- ・ハレ レレオ
- ・月の夜は
- ・カ ラウルアオレ
- ・カイマナヒラ

他



☆フラダンス ハーウラ・フラ・オ・リリアナ☆